

	課題	基本目標	基本方針	施策・事業
<p>(参考) 文化を担う人づくり</p>	<p>○文化芸術を鑑賞・活動する市民割合は国と同等だが、自宅鑑賞や県外施設利用が多い。<u>市内施設での鑑賞・活動機会の充実を図るとともに、コロナ禍におけるインターネットを活用した自宅等の鑑賞・活動機会の拡充を強化することが大切。</u></p> <p>○60代以上の鑑賞・活動割合が少なく、高齢者や障害者、外国人、子育て・介護世帯等を対象とした鑑賞・活動機会の拡充が必要。</p> <p>○音楽に取り組む市民・文化団体が多く、本市の特性として伸ばす一方、<u>音楽以外の分野の拡充に取り組むことも必要。</u></p> <p>○将来の文化芸術を担う子どもやアーティストの育成や、文化芸術を支える人材育成や民間との連携をさらに強化していくことが求められる。</p>	<p>「●●●●●●●●●●」</p> <p>(参考) 「歴史文化の継承と魅力ある市民文化の創造」(現行ビジョン)</p> <p>↑</p> <p>【次期総合計画】</p> <p>「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」</p>	<p>文化を担う人づくり</p> <p>○文化芸術に触れる機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれもが文化芸術に出会う機会の拡充 ・幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の充実 <p>○文化芸術に関わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を担う人材の育成 ・文化芸術を支える人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象としたアウトリーチ事業 ・障害者支援ワークショップ ・文化コンベンションセンターオープニングシリーズ(開館記念事業) ・ジュニアオーケストラ ・「中高生による演劇公演」事業 ・日本センチュリー交響楽団との連携事業
<p>(参考) 文化を支える環境づくり</p>	<p>○令和3年度に新たに文化コンベンションセンターが開館予定。<u>本市の文化芸術の拠点として、鑑賞・活動だけでなく文化芸術の創造に取り組むことを期待するとともに、市内施設の連携や分担を検討。</u></p> <p>○本市の文化振興を担う、<u>姫路市文化国際交流財団が持つ経験やノウハウを活用するとともに、財団の組織力を強化し、総合的な機能強化を支援していくことが必要。</u></p> <p>○市民に身近な環境で文化芸術に触れる機会創出のため、<u>アウトリーチ活動や、まちなか(大手前通り・駅前広場等)・姫路城での取組等、文化施設以外の環境整備が必要。</u></p> <p>○文化芸術団体の高齢化・会員減少が進む中、<u>世代交代や、地域・社会課題と連携した活動の実施等の新たな展開が求められる。</u></p>	<p>〈市民活動分野「市民文化活動の推進」〉</p> <p>○目指す姿 「市民が文化芸術に対する意識を高め、主体的に文化活動を行うことで、社会とのかかわりを深めるとともに、生活にゆとりと潤いを実感できている。」</p> <p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動における「社会包摂」の理念の重要性 ・コロナ禍における、オンラインを活用した文化芸術の創作や発信、鑑賞の方法への注目 ・播州秋祭りをはじめとする固有の伝統文化を未来に継承する必要性 ・子どもや若い世代が文化芸術に関心を高める機会の充実 ・文化施設等を、市民が文化活動に参加し交流できる拠点として活用するとともに、文化芸術に関する情報を発信する拠点としても活用 <p>○目指す姿を実現するための方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の文化芸術を担う人材の育成 ・伝統文化継承のための取組みの推進 ・文化芸術を通じた社会包摂の推進 ・文化芸術を活用したまちの魅力づくり 	<p>文化を支える環境づくり</p> <p>○文化芸術を支える基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の創造・発信拠点の整備・活用 ・文化関係施設の適切な維持・管理 <p>○文化芸術活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作、発表機会の充実 ・文化活動助成事業の充実 <p>○情報収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍におけるオンライン配信支援 ・インターネットによる情報発信の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化コンベンションセンターオープニングシリーズ(開館記念事業) ・各種顕彰事業、助成事業 ・市民文化祭 ・ホールのリアルタイム配信への対応 ・播磨圏域連携中枢都市圏における取り組み状況の集約・発信
<p>(参考) 歴史文化遺産を未来に活かす</p>	<p>○本市の魅力である姫路城は、今後も市民やインバウンド観光客の利用が期待される。<u>適切な保存と活用に取り組むとともに、文化観光をさらに展開していく。</u></p> <p>○社会的に孤立が問題視される中、本市の多彩な文化施設を市民交流拠点として利活用する動きが生まれている。<u>孤立しやすい市民を対象としたつながりづくりの場としての検討。</u></p> <p>○本市の特徴である「音楽のまち・ひめじ」のブランド構築に向けて、<u>シビックプライドの創出とシティプロモーションの両面から取り組むことが求められる。</u></p> <p>○本市の元気な地域力を最大限に活かし、<u>コミュニティを中心とした地域資源活用・伝統文化継承に取り組む。</u></p>		<p>文化芸術を未来に活かす</p> <p>○地域に伝わる歴史文化遺産の保存と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産姫路城の保存と活用 ・多彩な文化財の保存と活用 ・伝統文化・歴史的文書の継承と活用 <p>○文化芸術を活用したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を活かした地域との連携・協働 ・文化芸術と様々な関係分野との連携の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路城をはじめとした文化財の保存・修理 ・貴重な古文書類のデジタル化とインターネット上での公開 ・姫路城、書写山圓教寺などを会場としたイベントの実施 ・文化をテーマとした提案型協働事業